



存在は小さな大きな

漢字のふりがな。特に、活字の横に、小さな活字で示したものを「ルビ」といいます。「福島民報」の「ふくしまみんなぼう」のように、漢字の右横に、それぞれ読みに対応して付けられたひらがなが「ルビ」です。

このジュニア新聞では、基本的には小学五年生を基準に、それまでに習った漢字には、ふりがなルビを付けていません。つまり、小学五年生までの国語力があれば、十分にジュニア新聞は読みこなせるようにしてあるのです。

小学校までに習う漢字は「教育漢字」といいます。全部で千六文字あり、学年別に習うものが決められています。読者のみなさんが、新聞を通し読解力を磨くためには、日本語表記の基準である漢字仮名交じり文に親しむのが大前提です。

ルビはそのための、小さな助っ人。小さくても、みなさんの国語力向上に果たす役割はビッグと言えるかもしれません。